

● 超・直前の「知識確認」と「試験本番での注意事項」



知識確認（分野別重要事項）

★緑色のチェックシートがあれば、赤文字部分を隠すことができます

地形環境

- プレート境界では地震活動はすべて活発である
- プレート境界では火山活動は原則活発であるが、ヒマラヤ山脈、アトラス山脈には火山はない
- 三角州は、上流域が山岳地帯で多雨地域の河川の河口部に形成されやすい

自然災害

- 土石流は、水と土砂・岩塊などが一体となって高速で流下し、集中豪雨や融雪が原因となる
- 火砕流は、高温のガスと火山砕屑物などが一体となって高速で流下し、火山噴火が原因となる
- 液状化現象は、沖積低地（三角州など）やの埋立て地で地震の際に発生することがある
- 水害は、まれに豪雨があり植生に乏しく保水力のない乾燥地域でも発生することがある
- 自然災害の被害額は先進地域で、被災者数・死者数は発展途上地域、とくにアジアで大きくなる傾向にある
- 火山による災害は、ほかの自然災害と比べて少ない

環境問題

- 温室効果ガスには、二酸化炭素、メタン、フロンなどがある

気候環境

- 気温の年較差は海岸部、低緯度、中・高緯度西岸で小さく、内陸部、高緯度、中・高緯度東岸で大きい
- 気温の年較差は、高緯度地域では、緯度よりも隔海度（海岸部か内陸部か）の影響のほうが大きい
- 氷期には海面が低下し、間氷期（温暖期）には海面が上昇する
- エルニーニョ現象は貿易風が弱まることが原因で、太平洋東部（ペルーなど）では多雨、西部では少雨となる
- 南半球の地中海性気候は、夏季（12～2月頃）乾燥、冬季（6～8月頃）湿潤となる
- 北半球のツンドラ気候（最暖月平均気温0℃以上10℃未満）は、おもに北極海沿岸に沿って分布する

農牧業

- 北米の西経100°線は年降水量500mm、中国のチンリン山脈ーホワイ川線は年降水量1,000mmにあたる
- 緑の革命は1960年代以降、とくにモンスーンアジア地域での穀物生産量の増加をもたらした
- 土地生産性（1haあたり収穫量）は、西欧諸国、東アジア諸国で高く、新大陸、発展途上国で低い傾向にある

鉱産資源

- 発電量に占める水力発電の割合は、**ノルウェー**、**ブラジル**、**カナダ**などで高い
- 発電量に占める火力発電の割合は、**南アフリカ共和国**、**ポーランド**、**インド**、**オーストラリア**、**日本**、**中国**などで高い
- 発電量に占める原子力発電の割合は、**フランス**などで高い
- 産出量最大国は、石炭は**中国**、原油、天然ガスは**アメリカ合衆国**、鉄鉱石、ボーキサイトは**オーストラリア**
- 産出量最大国は、タングステン鉱は**中国**、コバルト鉱は**コンゴ民主共和国**、リチウム鉱は**オーストラリア**

工業

- 原料立地型工業は、セメント、鉄鋼、製紙・パルプなど、市場立地型工業は、食料品、印刷・出版など
- ロッテルダムは石油化学、ハンブルクは造船、トゥールーズは航空機、タラントは鉄鋼、マドリッドは自動車
- ボストンは電子、デトロイトは自動車、ミネアポリスは食品、ヒューストンは石油化学、シアトルは航空機

第3次産業

- ヨーロッパの余暇（観光）人口の移動は、イギリス、ドイツなど北部から、スペイン、イタリアなど南部へ

都市・村落

- 一般に伝統的集落は、扇状地では**扇端**、氾濫原・三角州では**自然堤防**上、洪積台地では**崖下**に立地する
- スラムは、先進国では**都心周辺部**、発展途上国では**既成市街地周辺部**に形成（郊外拡大）されることが多い
- 都市人口率は、先進国、新大陸の国、乾燥地域の国で**高く**、発展途上国で**低い**
- ニュータウンは、日本では**住宅機能**中心（ベッドタウン）、ロンドンでは**職住近接型**である
- 都市再開発では、アメリカ合衆国は**破壊一掃型**、ヨーロッパは**修復保全型**の手法がとられることが多い
- 首都が最大都市でない国は、中国、ベトナム、パキスタン、トルコ、スイス、カナダ、ブラジル、オーストラリアなど

生活・文化

- 伝統的家屋は、熱帯雨林・永久凍土地域では**高床式**、地中海地域では**石造り**、乾燥・高山地域では**日干しレンガ造り**
- 伝統的衣服は、朝鮮半島では**チマ・チョゴリ**、ベトナムでは**アオザイ**、インドでは**サリー**、アンデス地方では**ポンチョ**

貿易

- 貿易額は、人口規模が同程度であれば、先進国で**大きく**、発展途上国で**小さい**
- 貿易は、**近隣諸国間**で活発に行われる傾向がある
- おもな貿易黒字の国は中国、ドイツ、ロシア、スイス、サウジアラビア、赤字の国はアメリカ合衆国、イギリス、インド、フランス

国家

- EU諸国は経済規模に対して、貿易額、観光客数（観光収入・支出）、外国人労働者数、直接投資額が大きい

おもな国の人口規模

[2023 年]

インド (14.4 億人)

中 国 (14.2 億人)

10億人

アメリカ合衆国 (約 3.4 億人)

3 億人

インドネシア (約 2.8 億人)

パキスタン (約 2.5 億人)

ナイジェリア (約 2.3 億人)

ブラジル (約 2.1 億人)

2 億人

バングラデシュ (約 1.7 億人)

ロシア (約 1.5 億人)

メキシコ (約 1.3 億人)

エチオピア (約 1.3 億人)

日 本 (約 1.2 億人)

フィリピン (約 1.1 億人)

エジプト (約 1.1 億人)

コンゴ民主共和国 (約 1.1 億人)

ベトナム (約 1.0 億人)

1 億人

イラン (9,100 万人)

トルコ (8,700 万人)

ドイツ (8,500 万人)

8,000万人

タ イ (7,200 万人)

イギリス (6,900 万人)

フランス (6,600 万人)

南アフリカ共和国 (6,300 万人)

イタリア (5,900 万人)

ケニア (5,500 万人)

韓 国 (5,200 万人)

5,000万人

スペイン (4,800 万人)

アルジェリア (4,600 万人)

アルゼンチン (4,600 万人)

カナダ (3,900 万人)

ポーランド (3,900 万人)

マレーシア (3,500 万人)

サウジアラビア (3,300 万人)

オーストラリア (2,600 万人)

チリ (2,000 万人)

オランダ (1,800 万人)

チェコ (1,100 万人)

スウェーデン (1,100 万人)

1,000万人

イスラエル (930 万人)

スイス (890 万人)

600万人

デンマーク (590 万人)

シンガポール (580 万人)

フィンランド (560 万人)

ノルウェー (550 万人)

ニュージーランド (520 万人)

おもな国の経済水準（１人あたりGNI）

〔2022 年〕

ノルウェー（109,082 ドル）
スイス（91,745 ドル）
アメリカ合衆国（77,087 ドル）
デンマーク（70,377 ドル）
シンガポール（65,541 ドル）
オーストラリア（65,059 ドル）

60,000ドル

スウェーデン（58,015 ドル）
イスラエル（57,324 ドル）
オランダ（56,826 ドル）
カナダ（55,038 ドル）
フィンランド（51,420 ドル）
ドイツ（50,804 ドル）

50,000ドル

ニュージーランド（46,559 ドル）
イギリス（45,990 ドル）
フランス（42,160 ドル）

40,000ドル

日 本（36,337 ドル）
イタリア（34,984 ドル）
韓 国（32,780 ドル）
サウジアラビア（30,969 ドル）

30,000ドル

スペイン（29,913 ドル）
チェコ（26,387 ドル）

20,000ドル

ポーランド（16,585 ドル）
ロシア（15,180 ドル）
チリ（14,494 ドル）
アルゼンチン（13,570 ドル）
ブルガリア（12,867 ドル）

世界平均**12,626ドル**

中 国（12,463 ドル）
マレーシア（11,546 ドル）
メキシコ（11,212 ドル）
トルコ（10,529 ドル）

10,000ドル

ブラジル（8,637 ドル）
タ イ（6,709 ドル）
南アフリカ共和国（6,615 ドル）

5,000ドル

インドネシア（4,656 ドル）
イラン（4,508 ドル）
アルジェリア（4,188 ドル）
ベトナム（3,961 ドル）
フィリピン（3,705 ドル）
エジプト（3,566 ドル）

3,000ドル

バングラデシュ（2,629 ドル）
インド（2,396 ドル）
ケニア（2,067 ドル）
ナイジェリア（1,998 ドル）
パキスタン（1,477 ドル）
エチオピア（960 ドル）

試験本番での注意事項

試験全体

- ★設問ごとに時間配分のメリハリをつける。
 - 時間をかけない設問：知識問題／単答式問題，正誤問題など
 - 時間をかける設問：思考力問題／統計資料問題，地形図読図問題など
- ★よみ取りが煩雑な統計資料問題は，最後にまわしてもよい（ただし，マークミスに注意）。
- ★正答の判断に迷う設問が，例年 2 ～ 5 題程度は出題されるため，そのような設問にこだわる必要性はなく，基礎から標準レベルの設問が正答できれば，高得点をとることができる。

設問を解く際

- ★「地域調査」の大問は，最初の図やほかの設問内にヒントとなる内容が示されている場合がある。
- ★設問で使用する地図が，白地図ではなく，衛星写真のほか，鳥瞰図など立体的な地図であれば，“地形”の特徴をよみ取りそれをヒントに設問を解く場合が多い。
- ★統計指標は，その傾向が“明白なもの”から先によみ取り，選択肢を 2 つにグループ分けして 4 択から 2 択に絞る。
- ★統計資料問題において，選択肢以外の国などが図表内に示されている場合は，先にそれらの国などの傾向を考えた上で，選択肢となっている国などの判定を考える（ヒントとなる情報を最大限使って設問を解く）。
- ★地域別の統計データは，その地域に占める割合の高い国の特徴から考える。
たとえば，東アジアなら中国を，アングロアメリカならアメリカ合衆国を。
- ★正誤問題での正誤判定部分の内容は，原則，“地理的な内容”の正誤が問われる（地理的な内容以外の文章表現面などで誤り選択肢となることはない）。

ケアレスミスの防止

- ★気候環境分野の設問で地図使用の問題では，赤道，南北回帰線， 50° 線をまず地図上に書き込む！
- ★正誤問題では，「正しいもの」，「誤っているもの」のどちらを解答するのか要確認！
- ★組合せ選択肢は，それぞれあてはまるもの（A→ウ B→イ C→ア など）を必ずペンで印をつけてから，間違わないように選択肢を選ぶこと。

